

令和6年

# 広野町はたちを祝う会



令和6年広野町はたちを祝う会が1月7日(日)、広野町公民館において執り行われ、新たに二十歳を迎えた14名が出席しました。スーツや振袖に身を包んだ参加者は、旧友との再会を喜び、それぞれの目標に向かって気持ちを新たにしました。

式典では、遠藤町長から根本陸さんに成人証書の授与が行われ、遠藤町長が「皆さんの高い志と熱い情熱をもって、これからの輝かしい未来へと前進し、若い力を発揮して社会で活躍することを期待しています。」と式辞を述べました。来賓として橋本徹県議、佐々木恵寿県議、渡邊正俊町議会議長が祝辞を贈りました。出席者を代表し、荒川礼奈さんと坂本侑汰さんが「はたちの夢」を発表し、山田あさかさんが謝辞を述べました。



## 謝辞

成人代表 山田 あさかさん



本日、晴れて成人の日を迎えることができました。

私たちのためにこのような素晴らしい式典を開催していただき心から感謝申し上げます。

ご来賓の方々からいただいたお祝いのごとびや貴重なお話を深く胸に刻み、新成人代表として御礼申し上げます。

コロナ禍という大変な時期もありましたが、久しぶりにみんなと再会することができ、とても嬉しく思います。こうして無事に再会することができましたのは、家族や地域の皆様のおかげです。これからは私たちが家族や地域の皆様に恩返し

していきたいと思っています。そして、この生まれ育った町、広野町に貢献していきたいと思えます。

私たちは二十歳を迎えたばかりで、社会人としてはまだまだです。社会に出て働いている人、学生として学業に励んでいる人など、様々です。

しかし、成人を迎えた今、大人としての自覚を持ち責任ある社会人として歩んでいく決意をここに誓います。

どうかこれからも温かい目でご指導ご鞭撻くださいようお願いいたします。

簡単ではありますが、これをもって新成人代表の謝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。